

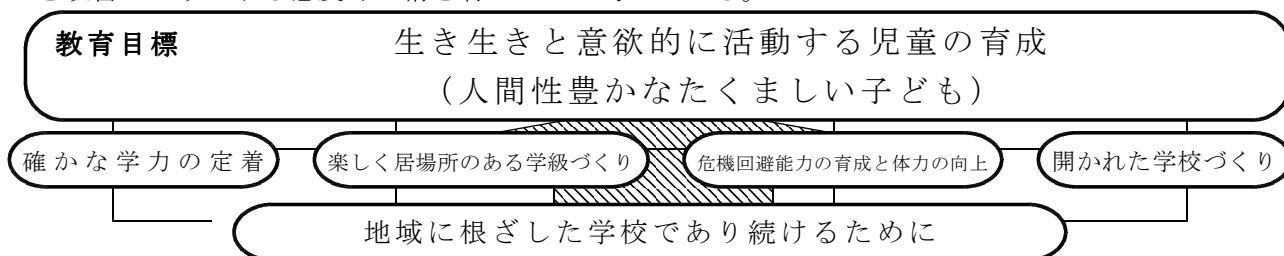
【特色ある学校づくり・環境教育】

「地域の中で育つ子どもの育成」をめざして

守谷市立大野小学校

1 はじめに

本校では、学校教育の推進に使命感と誇りを持ち、家庭と地域の方々との双方向性の高い心の交流を土台とし、地域と教職員がひとつになって、「生き生きと意欲的に活動する児童の育成」を推進している。また、身近な環境の様子や問題等に関心をもち、環境に対する豊かな感受性や環境問題を改善しようとする態度や心情を育てたいと考えている。



2 実践

(1) 特色ある学校づくり

① 米づくり体験活動

本校では、4年生を中心に全学年に関わる1年間を通じた米づくり体験学習を行っている。大野小協力の会をはじめとして、保護者、PTA役員、地域の方々、大野地区田園環境保全活動組織(EPOP)等、多くの方の協力により活動を進めている。この活動は、大野地区の特色を生かし、地域の方々とともに米づくりを体験することにより、「地域の方との交流を深めることができる。」「土に親しみながら米づくりについて学ぶことができる。」「地域の農家の様子について調べ、農業の現状を理解し、食の大切さに気付くことができる。」また、「大野地区の環境について学習することができる。」など、幅広いねらいをもったものである。

期 日	学 年	内 容
5月 2日(金)	1, 2, 4年生	種 ま き
5月20日(火)	4年生	代かき見学, 田んぼリレー
5月23日(金)	4, 5年生	田 植 え
7月, 8月	4年生	除 草
9月	4年生	観 察
10月 3日(金)	4, 6年生	稲刈り・おだかけ
10月16日(木)	3, 4年生	脱穀・粃すり
11月 8日(土)	全学年	収 穫 祭



田んぼリレー



田植え



稲刈り



収穫祭

②その他の取り組み

・登下校の見守り

登下校ボランティアを地域への回覧を通して募集し、登校班に付き添いをお願いした。また、校外指導委員が中心となり、全家庭の協力を得、毎日下校時の付き添いを行った。

・読み聞かせ会

月に1回、本校卒業生の保護者や現児童の保護者の方等が、朝や昼休みを利用して、読み聞かせボランティアを行っている。この活動は、学校側が募集したものではなく、自主的に募って集まった方々で行われている。

・タグラグビー

地域の方をゲストティーチャーとして招き、タグラグビーを各学年で体験した。発達段階に応じて、簡単なゲームから、本格的な作戦を考えたゲームの取り組み方等を指導していただいた。

(2) 環境教育

①環境に関する啓発活動

地球温暖化と省エネ対応に関した取り組みを行う。

- ・ツルレイシを使ったグリーンカーテンをつくり、その観察を通して効果について学習する。
- ・休み時間や給食時の消灯をこまめに行い、無駄な電気を消す。
- ・各種環境啓発ポスターへの積極的な応募を行う。

②児童会活動

- ・飼育委員会を中心にウサギの飼育活動を行う。
- ・園芸委員会で花壇の整備を行う。
- ・委員会活動や児童有志による落ち葉掃きを行う。

② PTA 活動

- ・ベルマークの収集を行い、備品を購入する。
- ・ペットボトルキャップの回収やインクカートリッジの回収。
- ・書き損じはがきの回収。
- ・除草作業を行う。

④ 米づくりやサツマイモの栽培

全児童で米づくりやサツマイモの栽培に取り組み、秋の収穫祭で米づくりに関する発表を行い、収穫を祝って餅や焼き芋を食べる。



グリーンカーテン



P T A 奉仕作業



芋ほり

3 成果と課題

(1) 成果

地域の方々や保護者には、多くの協力を得ることができた。そんな中で、児童は、多くの体験や交流を行うことができた。また、体験や交流を通して、学校・家庭・地域社会の連携が密にでき、信頼関係を築くことができた。

環境に対する意識の高揚を図るために、学校全体または、各学年で工夫してさまざまな活動に取り組んできた。そのさまざまな活動を通して、環境に対する豊かな感受性を育むことができた。

(2) 課題

学校の取り組みを、学校だよりやホームページで積極的に発信し、保護者・地域住民に対して教育活動への興味・関心を高め、地域に根ざした学校を目指していきたい。また、新たな人材発掘にも力を入れていきたい。

環境問題に対する意識を高めるために、地域の環境を利用した体験活動や地域の人材を生かした学習の場を設けていきたい。